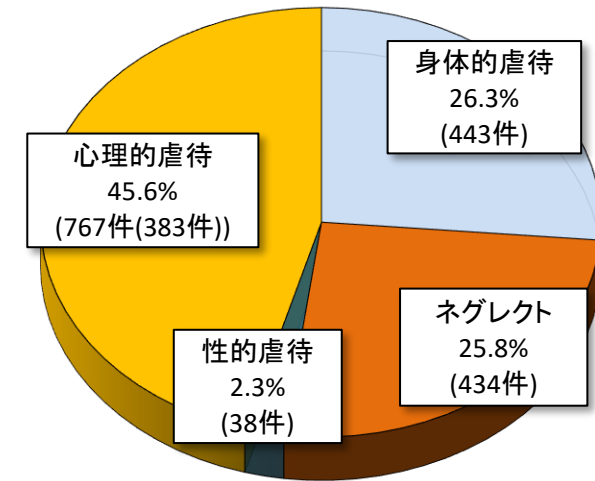


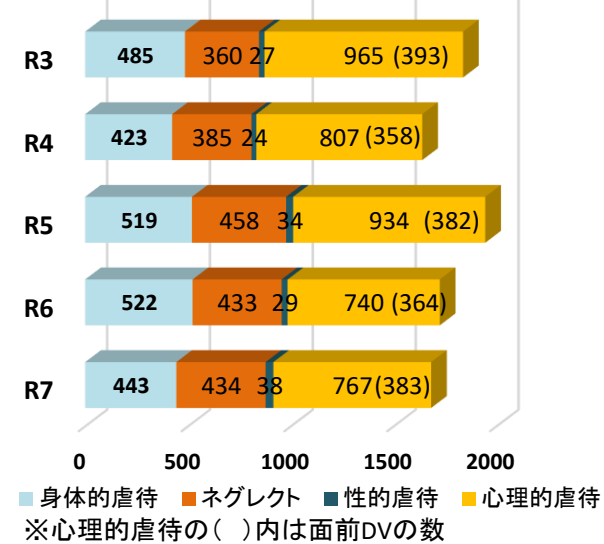
主たる虐待の種類

主たる虐待の種類別件数の内訳



※心理的虐待の（ ）内は面前DVの数

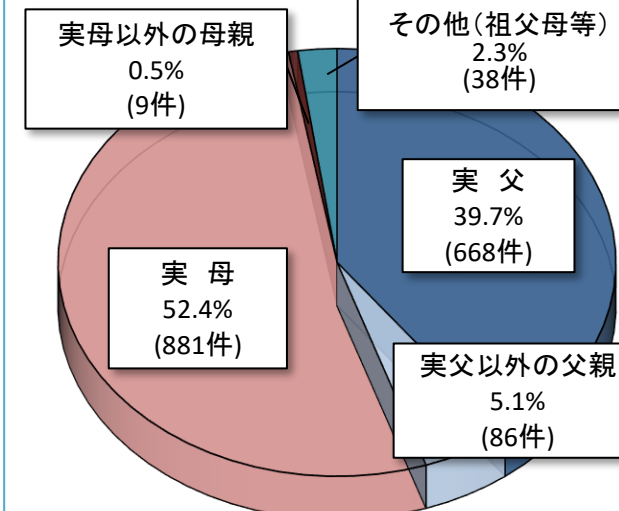
主たる虐待の種類別件数の推移



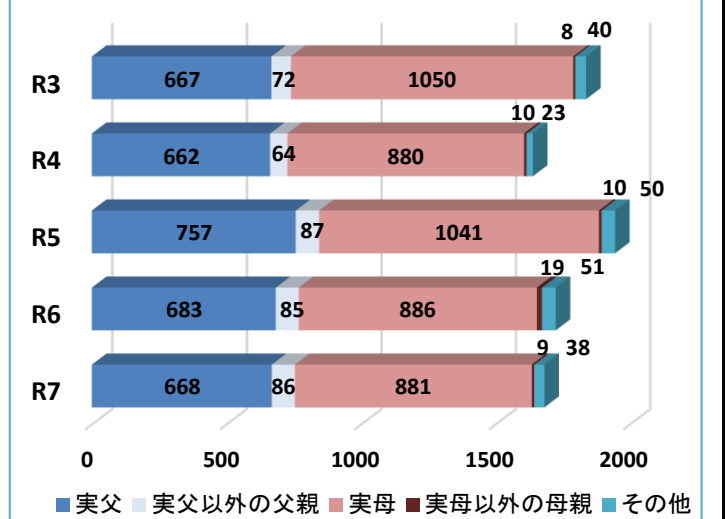
「心理的虐待」が最も多く、次いで「身体的虐待」、「ネグレクト」の順に多い。前年度と比較すると、「身体的虐待」が79件減（15.1%減）、「ネグレクト」が1件増（0.2%増）、「性的虐待」が9件増（31.0%増）、「心理的虐待」が27件増（3.6%増）となった。傾向については、前年度と比較すると、全体に対する「身体的虐待」の割合が減少し、「心理的虐待」の割合が増加した。

主な虐待者

主な虐待者別件数の内訳



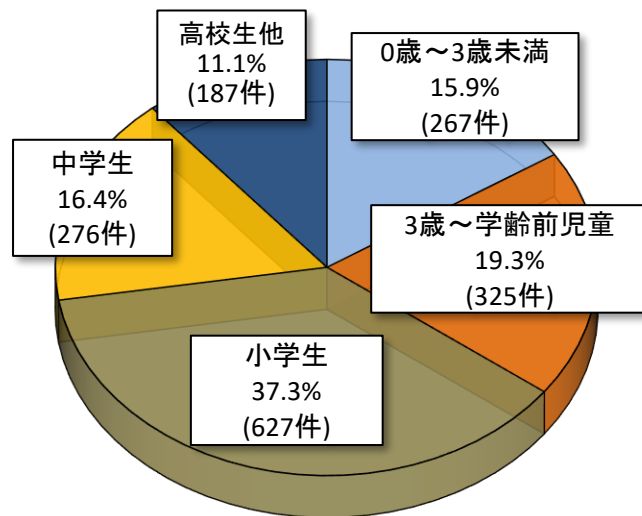
主な虐待者別件数の推移



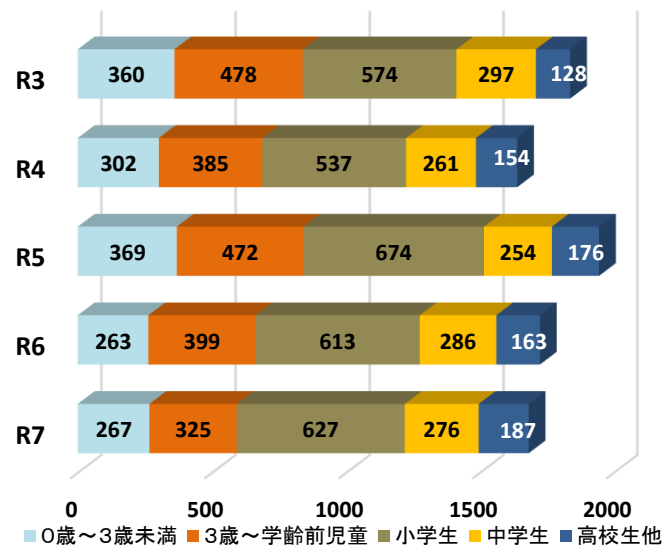
「実母」の件数が全体の半数以上を占め、「実父」と合わせた「実親」の件数が、全体の9割以上を占めている。前年度と比較すると、「実父」が15件減（2.2%減）、「実父以外の父親」が1件増（1.2%増）、「実母」が5件減（0.6%減）、「実母以外の母親」が10件減（52.6%減）、「その他（祖父母等）」が13件減（25.5%減）となった。傾向については、前年度とほぼ同様である。

被虐待児の年齢

被虐待児の年齢別件数の内訳



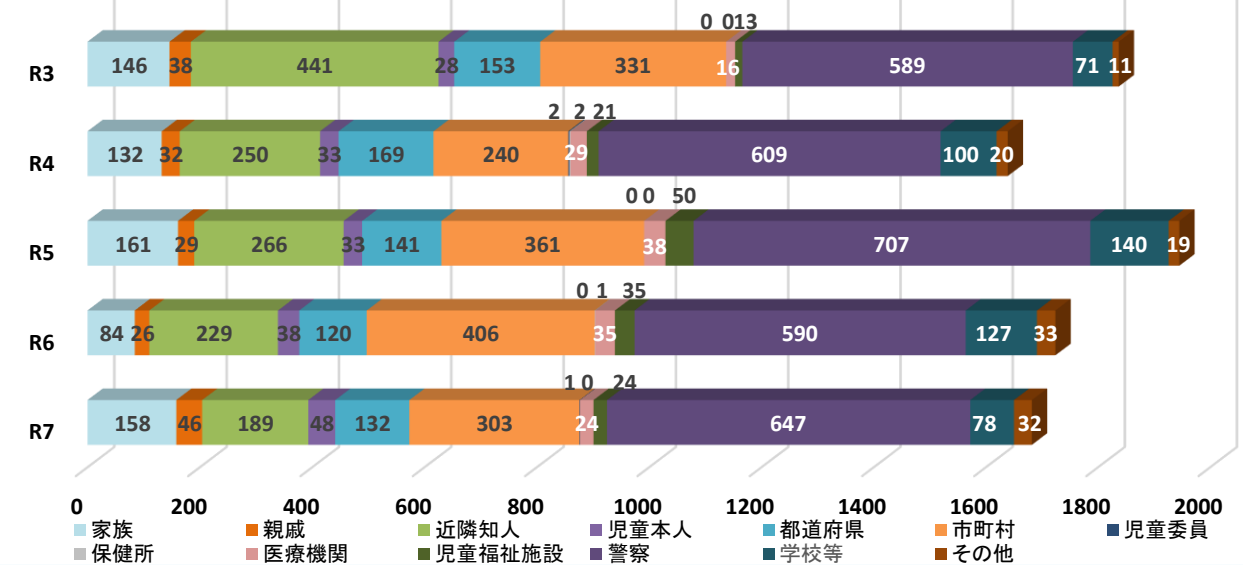
被虐待児の年齢別件数の推移



前年度と比較すると、「0歳～3歳未満」が4件増（1.5%増）、「3歳～学齢前児童」が74件減（18.5%減）、「小学生」が14件増（2.3%増）、「中学生」が10件減（3.5%減）、「高校生他」が24件増（14.7%増）となった。傾向については、前年度と比較すると、全体に対する「3歳～学齢前児童」の割合が減少した。

虐待通告の経路

虐待通告の経路別件数の推移



「警察」「市町村」「近隣知人」の順に件数が多く、前年度と比較すると、「家族」が74件増（88.1%増）、「学校等」が49件減（38.6%減）、「市町村」が103件減（25.4%減）、「近隣知人」が40件減（17.5%減）、「警察」が57件増（9.7%増）となった。